

第15回 国際日本学シンポジウム

主催：お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター

共催：特別経費「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」プログラム
お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科仏語圏言語文化コース

フランスへの憧れ

—生活・芸術・思想の日仏比較—

平成25(2013)年7月6日(土)～7日(日)

【使用言語：日本語、資料代500円】

7月6日(土) 共通講義棟2号館101号室
(13:00～17:50)

挨拶

羽入佐和子 (お茶の水女子大学長)

趣旨説明

中村 俊直 (お茶の水女子大学)

セッションI

テーマ：生活文化 <衣食住や大衆娯楽など生活文化におけるフランスの影響を考えます>

司会 中村 俊直

講演

宇田川 悟 (作家)

「フランス料理の日仏交流150年」

研究発表

西岡 亜紀 (東京経済大学)

「宣教師が運んだフランス —長崎・築地・横浜の近代—」

田中 琢三 (お茶の水女子大学)

「中原淳一と1950年代初頭のパリ」

安城 寿子 (お茶の水女子大学大学院生)

「クリスチャン・ディオール受容小史 —ある抵抗にいたるまで—」

北村 卓 (大阪大学)

「宝塚歌劇におけるフランスのイメージ —『ベルサイユのばら』の成立をめぐる—」

パネルディスカッション

司会 本間 邦雄 (駿河台大学)

交流会 (18:00～19:30) ふるってご参加ください。(無料)

7月7日(日) 共通講義棟2号館101号室

セッションII

テーマ：芸術・思想 <20世紀を中心にフランスの芸術や思想の受容について検討します>

■午前の部 (11:00～12:00)

司会 古瀬奈津子 (お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター長)

特別講演

芳賀 徹 (静岡県立美術館館長、東京大学名誉教授)

「ポール・クローデルと大正日本 —詩人として、大使として—」

■午後の部 (13:30～17:30)

司会 田中 琢三

講演

野村喜和夫 (詩人)

「日本現代詩とポストモダンの思想」

研究発表

ローラン・テシュネ (東京藝術大学)

「アンサンブル室町：21世紀の新しい教育」

有田 英也 (成城大学)

「加藤周一<雑種文化論>に見るフランスと日本」

アレクサンドル・マンジャン (お茶の水女子大学)

「フランス語圏の生存主義者たちと宮本常一：比較研究」

パネルディスカッション

司会 岩切正一郎 (国際基督教大学)

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 (東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩5分 正門(東門)からお入り下さい。)

お問い合わせ (毎水曜日 10～17時)

比較日本学教育研究センター Tel. 03-5978-5504 E-mail ccjs@cc.ocha.ac.jp ホームページ <http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/>